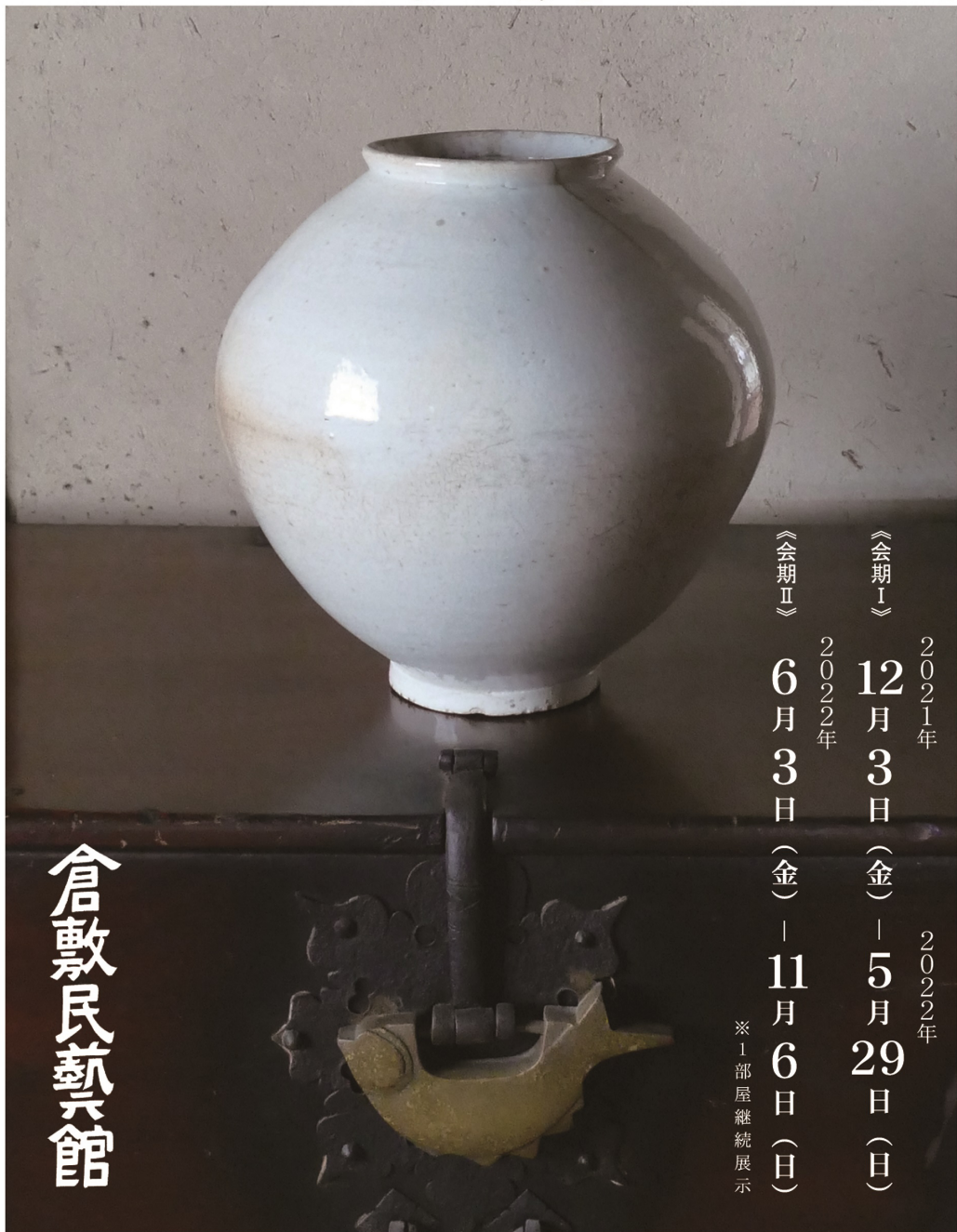


企画展

# 李朝の工芸



2021年

《会期Ⅰ》

12月3日(金) | 5月29日(日)

2022年

2022年

《会期Ⅱ》

6月3日(金) | 11月6日(日)

※1部屋継続展示

倉敷民藝館



民画 時代不明  
「虎に翼」は日本の「鬼に金棒」の意



面取徳利 李朝



箕 1965年



鉄絵壺 李朝



色紙裁縫箱 時代不明



螺細小卓 李朝



石鍋 李朝  
独自の形状が特徴



華角枕隅 李朝  
華角張(かがくばり)とは、牛角根元の透明部分を切り取り紙状に薄く裏面から彩色絵付し器物に貼ったもの

李朝の工芸は、李氏朝鮮王朝時代（1392年から1897年の朝鮮半島）の工芸を指します。

工芸品は実用性（用途に沿った形・素材・機能・さらに美しさ）を備えた人々の生活や文化を支えるための道具です。

民藝運動の創始者である柳宗悦は、1914年に朝鮮陶磁壺の美しさに魅了されたことを機に、無名の工人によって作られた日用品の美に目覚めます。この品には「和」の心が美しさとして現れており、人情を通わせ美しい心を持たせてくれると考えたのです。柳にとって強い衝撃を受けたこの出会いは、後に民藝美論の確立へと続いていきます。そして朝鮮の工芸品の価値を広く人々に紹介したいとの思いから、1924年に朝鮮王朝の王宮であった景福宮内へ朝鮮民族美術館を開設しました。柳は固有で独自の美を生む力を持つ朝鮮民族の人々を敬愛していました。

倉敷の地にも民藝を広めるべく、日本民藝館に次いで開館したこの倉敷民藝館にも、初代館長 外村吉之介が中心となり収集にあたった朝鮮半島の工芸品（民画、陶磁器、木工品、石工品、金工品など）が多数収蔵されています。

土地も時代も異なる文化が今回の主題ですが、温かみのある白磁器や、感性豊かな民画、丈夫で彫刻が美しい木のお膳などの工芸品からは、手仕事の素晴らしさや日々を力強く生きるための生活の知恵が見受けられます。

今回7年ぶりとなる李朝展へご来場頂けますと幸いです。

## 会期中の催事

### 民画の展示替え

名品「四瞳猛虎鶴図」「文房図屏風」「文字絵」等館所蔵の民画約70点を会期中適宜入替展示予定

### 韓国工芸品 展示即売

半閑櫃（バンドチ）、陶磁器（水滴、蓋付壺など）  
真鍮スプーン、刺繍、木工品、紙工品 等  
入場無料の売場において会期中販売予定

### 民藝市場

5/21（第3土曜日）※雨天決行、入場無料

時間 9:00~16:00

場所 倉敷民藝館特設ギャラリー

### 常設展示

『岡山の民藝品』、『島根と鳥取の焼物』  
世界各地の『金工品』、『籠』、『家具』  
を企画展と併せてご鑑賞下さい。（全館展示品数 約600点）

※今後の新型コロナウイルス感染症拡大状況によりましては、催事の中止や延期、臨時休館など予定を変更する可能性があります。最新情報は公式HPをご確認下さい。



休館日 月曜日（祝日は開館）、年末年始（12/29~1/1）

開館時間 9:00~17:00（受付は16:30まで）

入館料 大人 1,000円

高大生 400円

小中生 300円

交通手段 J R 倉敷駅から徒歩15分

（近隣に市営の有料駐車場あり）

倉敷民藝館  
KURASHIKI MUSEUM OF FOLK CRAFT

〒710-0046

岡山県倉敷市中央1-4-11

TEL: 086-422-1637

FAX: 086-476-8446

http://kurashiki-mingeikan.com

